

尺度得点の算出（概要）

v1 から v5 がひとつの構成概念（F1）、v6 から v10 がもうひとつの構成概念（F2）を測定している、つまり因子が2つ想定されると設定した場合（ただし、項目に逆転項目がない場合）

→ 下位因子を測定する項目群の回答者内平均得点を算出するために、**F1とF2の項目群を使って平均値**を算出する※

※F1とF2の因子得点、あるいは主成分得点を使うケースもある(詳細は省略)

① 赤で囲んだところがチェックポイント

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	変数名	ID	v1	v2	v3	v4	v5	v6	v7	v8	v9	v10			
2															
3	分析		選択セルを使用		統制変数を投入		変数を左につめる			● 変数情報		変数の作成		シート管理	
4										○ 回帰分析					
5										○ 因子分析		データセット		HADの設定	
6	データシート														
7															
8															
9	使用変数	ID	v1	v2	v3	v4	v5								
10															
300	変数情報	フィルタ	値	ラベル	@変数	コード									
301	ID														
302	v1														
303	v2														
304	v3														
305	v4														
306	v5														
307	v6														
308	v7														
309	v8														
310	v9														
311	v10														
312															
313															

② 「変数の作成」をクリックすると、以下が出てくる。赤枠がチェックポイント。最後に「OK」を押すと、**Scoreシートに平均得点が算出される。**データシートに平均得点を移して、再読み込みすればデータとして分析できるようになる。ただし、変数名を適宜変えて、何の平均得点かが分かるように。

変数の作成： HAD

変数の合成 | 尺度変換 | 数値変換 | 値の再割り当て | 欠損変数

・使用変数から合成変数を作ります

平均得点を算出

合計得点を算出

主成分得点を算出

最初の変数から残りの変数を引く

・交互作用項を作ります

中心化して交互作用項を作成

変数の合成に、標準化した得点を使用する

フィルタをオフにする

出力を上書きしない

OK キャンセル

③ 逆転項目が尺度に含まれる場合は、「変数の作成」をクリックして、数値変換（上の青枠）タブをクリックして、①と②を行う。逆転項目を逆転して得点の方向性を合わせた後に平均得点を算出するという意味である。